

授業科目名・形態	保健医療論	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	古川博文・工藤賢一		開講期	3年前期	単位数 2

### 【授業の主題】

保健医療サービスは、健康増進、傷病予防、治療、看護、介護、リハビリテーションなどとこれらに関連するサービスの総称と考えられている。この領域に関する学習にあたっては、「地域包括ケアシステム」に代表されるこれからのわが国の社会保障制度の全体像及び、サービス提供する多領域の従事者が連携・協働する意義と課題についても学べるものとした。

また、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士として従事する際に必要とされる保健医療サービスの様々な制度や当該分野におけるソーシャルワークについて学ぶのも本講義の重要な課題でもあり、「連携・協働」の最新の状況を体感できるような授業構成とした。

### 【到達目標】

- 1) 医療・介護サービスの現状及び、診療報酬・介護報酬について学ぶこと。
- 2) 保健医療サービスにおける専門職種の連携・協働の意義について学び、考察すること。

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 保健医療サービスの構成要素と整備・充実（工藤）
- 第 2 回 医療法改正と保健医療サービス・医療連携（工藤）
- 第 3 回 医療施設の役割と機能及び診療報酬 1（工藤）
- 第 4 回 医療施設の役割と機能及び診療報酬 2（工藤）
- 第 5 回 医療施設の役割と機能及び診療報酬 3（工藤）
- 第 6 回 医療保健サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割 1（工藤）
- 第 7 回 医療保健サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割 2（工藤）
- 第 8 回 保健医療サービスの提供と経済保障 1（工藤）
- 第 9 回 保健医療サービスの提供と経済保障 2（工藤）
- 第 10 回 介護保険法における施設等の類型と在宅支援システム（古川）
- 第 11 回 保健医療サービスの専門職の役割 1（古川）
- 第 12 回 保健医療サービスの専門職の役割 2（古川）
- 第 13 回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践 1（古川）
- 第 14 回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践 2（古川）
- 第 15 回 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践（古川）

### 【授業実施方法】

講義方式で行う。

### 【授業準備】

講義内容を踏まえた復習を行い、習得しておく。

### 【主な関連する科目】

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画

### 【教科書等】

新・社会福祉士養成講座（17 巻）『保健医療サービス 第 5 版』中央法規出版

### 【参考文献】

必要に応じて提示する。

### 【成績評価方法】

筆記試験 60%、課題レポート 30%、授業態度・出席状況 10%により総合的に評価する。

### 【学生へのメッセージ】

保健・医療・介護・福祉の各制度は、相互に関連しながら機能していることから、各制度に関心を持ち、制度間の関連に着目しながら主体的に学習してほしい。